

業界別部会長シンポジウム <電気電子部会>

2012年8月21日

ブラジル日本商工会議所

電気電子部会

- ✓ **2012年上期の回顧**
- ✓ **マナウス生産品目の動向**
- ✓ **大型白物家電の動向**
- ✓ **ブラジル白物家電の遷移**
- ✓ **ブラジル – テレビの遷移**
- ✓ **通信分野の課題**
- ✓ **固形物廃棄処理法とリバーズロジ**
- ✓ **GINGA規制**
- ✓ **2012年下期の展望**

上期に対前年で成長した企業が多いものの、欧州経済危機に端を発した景気低迷(12年GDP成長予測=2%以下)により消費財や設備投資が減少、産業界の停滞が目立った。

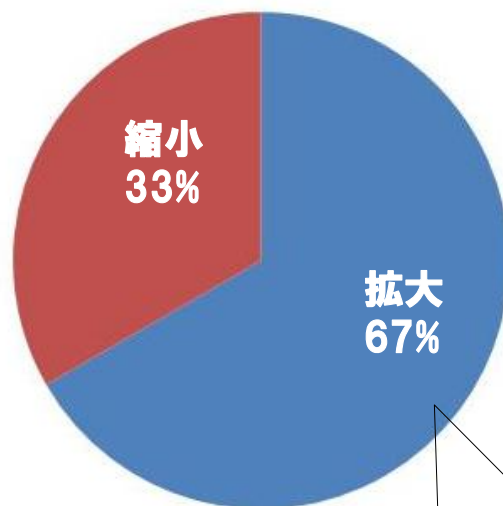
市況・外部要因

- 減税対策商品を中心に市場は伸びたものの、中国製をはじめとする**低価格輸入品も急増し**、一部のアイテムは国内生産の維持が困難に。
- 欧州債務危機**の影響でブラジルの景気が後退局面に入り、消費の減速と工業生産のスローダウンが進んだ。
- 為替の変動(ドル高リアル安)**により輸入ビジネスに影響大。現地通貨ベースでは伸びているものの、収益を圧迫。

販売実績・業績評価

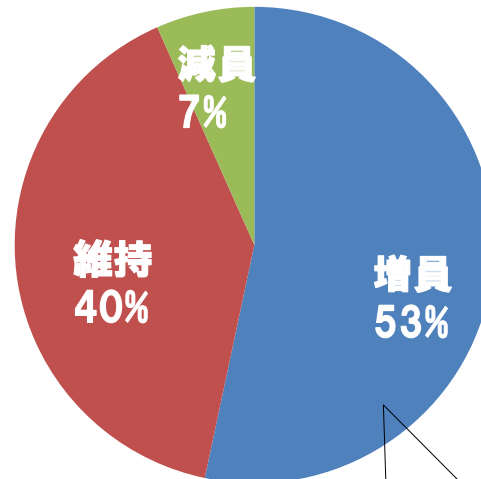
- 好業績企業のプラス要因：**通信システムインフラ向け販売拡大、経営努力、インセンティブの有効活用、パートナー企業との提携**
- 業績が低迷した企業のマイナス要因：**為替の変動(リアル安)、人件費等コストアップ景気減速による消費後退、政府景気刺激策の細則制定遅れが需要の喚起に繋がらず**

上期販売実績



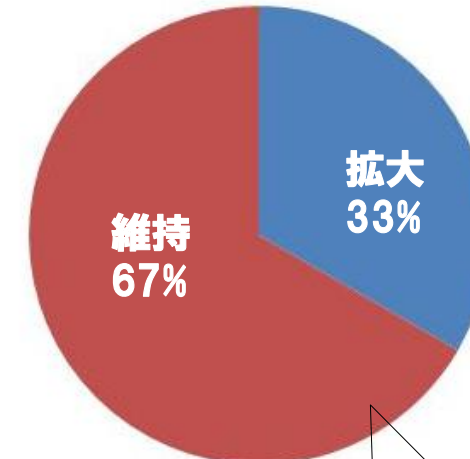
アンケート回答社の67%が前年比で販売拡大を達成。

人員の変化



アンケート回答社の53%が増員。併せて、固定費の上昇を招いている。

投資



アンケート回答社の67%と大半が投資を実施していない。

生産動向（電器業界）

単位：1台

	2011年 (1～6月)	2012年 (1～6月)	前年比
テレビ (CRT)	1.317.178	519.340	40%
テレビ (Plasma/LCD)	4.508.205	5.783.481	128%
ホームシアター	305.103	212.808	70%
DVD, Blu-Ray	2.352.172	1.964.026	84%
デジタルカメラ	1.543.911	1.576.337	102%
ミニシステム	507.916	669.691	132%
カーオーディオ	1.221.906	1.197.039	98%
電子レンジ	1.931.251	1.953.988	101%
エアコン(スプリット)	990.211	405.659	41%
	計 14.677.863	14.282.369	

2012年
予測

15百万台

売上・雇用（電器業界）

売上高 百万リアル	10.507	11.351	108%
雇用人数	49.872	49.821	100%

上期販売推移

単位：千台

	11年上期 (1月~6月)	12年上期 (1月~6月)	前年比
冷蔵庫	3,094	3,465	112%
洗濯機	1,510	1,661	110%
ガスレンジ	1,880	2,124	113%

8月時点の
IPI税


5% (↓5%)

Au 10% (20%)

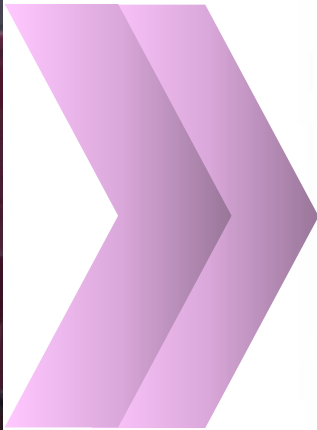
S.Au Zero (10%)

Zero (4%)

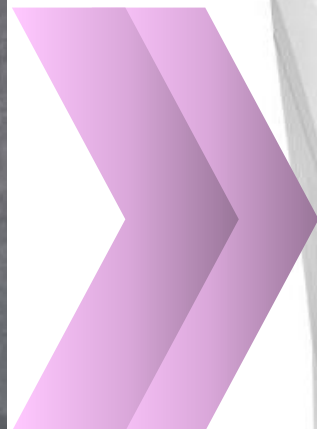
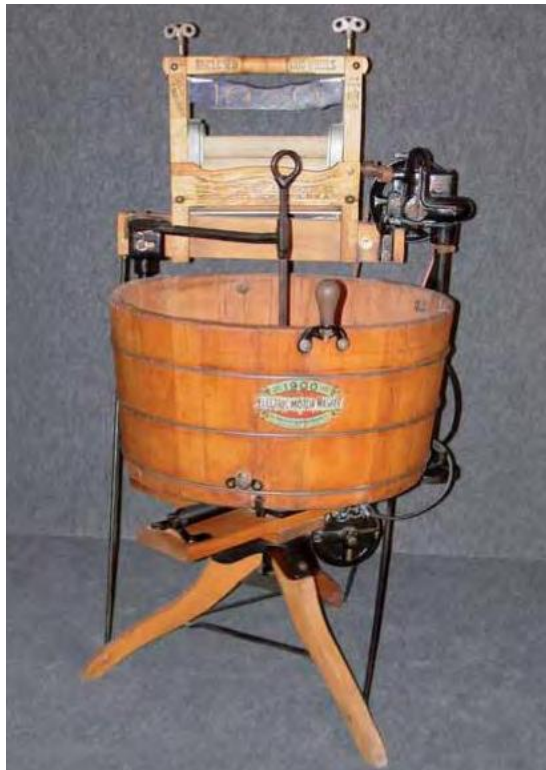
Eletrosより

- ローカルコンテンツ(労働組合)
- 省エネ商品の奨励

冷蔵庫



洗濯機



商品の進化

- 1) 機能(省エネ、重量、耐久性)
- 2) 安全性(規格、環境)

古くから業界が省エネへの取組みを開始

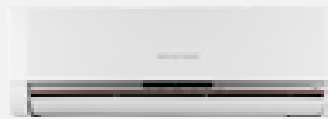
冷蔵庫	1985年から
エアコン	1998年から
ガスレンジ	2001年から



冷蔵庫 414L

<消費電力>

1985: 115 kWh/月
2011: 50 kWh/月



エアコン 7000BTU

<熱変換効率>

1998: 8,0 kJ/Wh
2011: 10,49 kJ/Wh



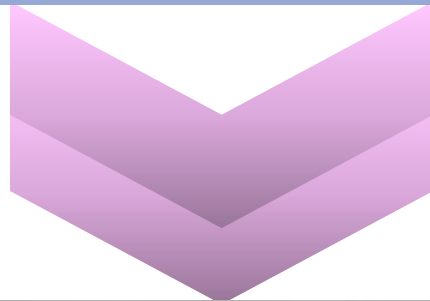
ガスレンジ

<熱効率>

1987: 52%
2011: 62%



<最初のテレビ>



商品の進化

- 1) デバイス(パネル、奥行き、重量、省エネ)
- 2) 機能(インターネット接続、スマートフォン・タブレット連携、3D)

CRTテレビから薄型テレビ、特に液晶へのシフトが加速

薄型テレビ比率

2004: 1%未満
2011: 90%

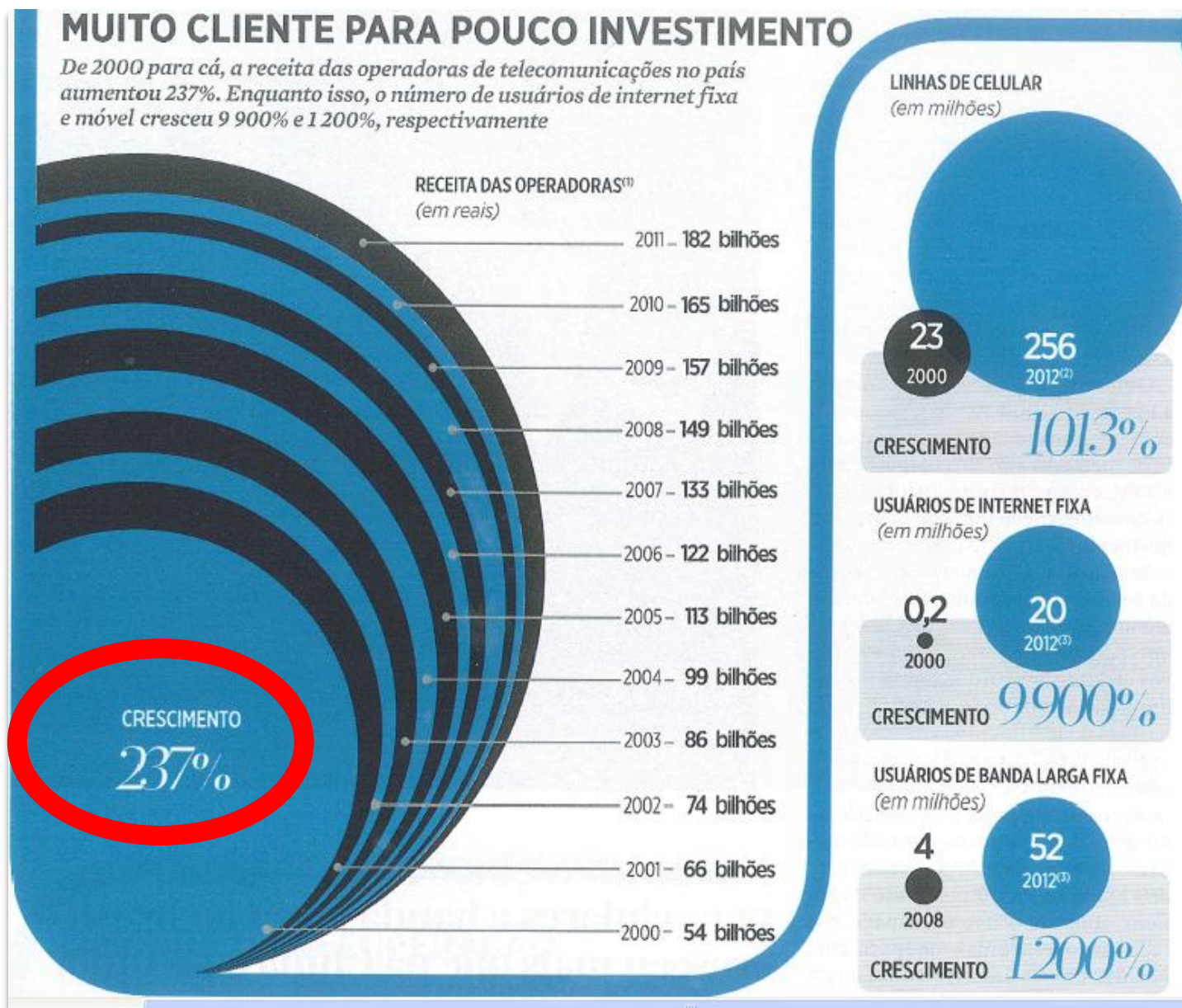
テレビ奥行き
(32cm)

CRT: 35cm
LED LCD: 4-9cm

見るだけのテレビから、繋がる・使い楽しむテレビへ

- インターネット接続(Webブラウザ・SNS)
- スマートフォン・タブレットデバイス連携(写真・動画・音楽共有)
- 3D(番組・BD)

■ ブラジル全キャリア収益の推移



■ 投資推移



- 基地局数は55,000基(米国の5分の1)
- 固定インターネット接続は全世帯の30%のみ
- ブロードバンドの平均通信速度は4.9Mbps

- 各キャリアは事業の拡大に対して投資が追いついていない
- 基地局不足による通信品質の低下を招いている (**通信のapagão**)

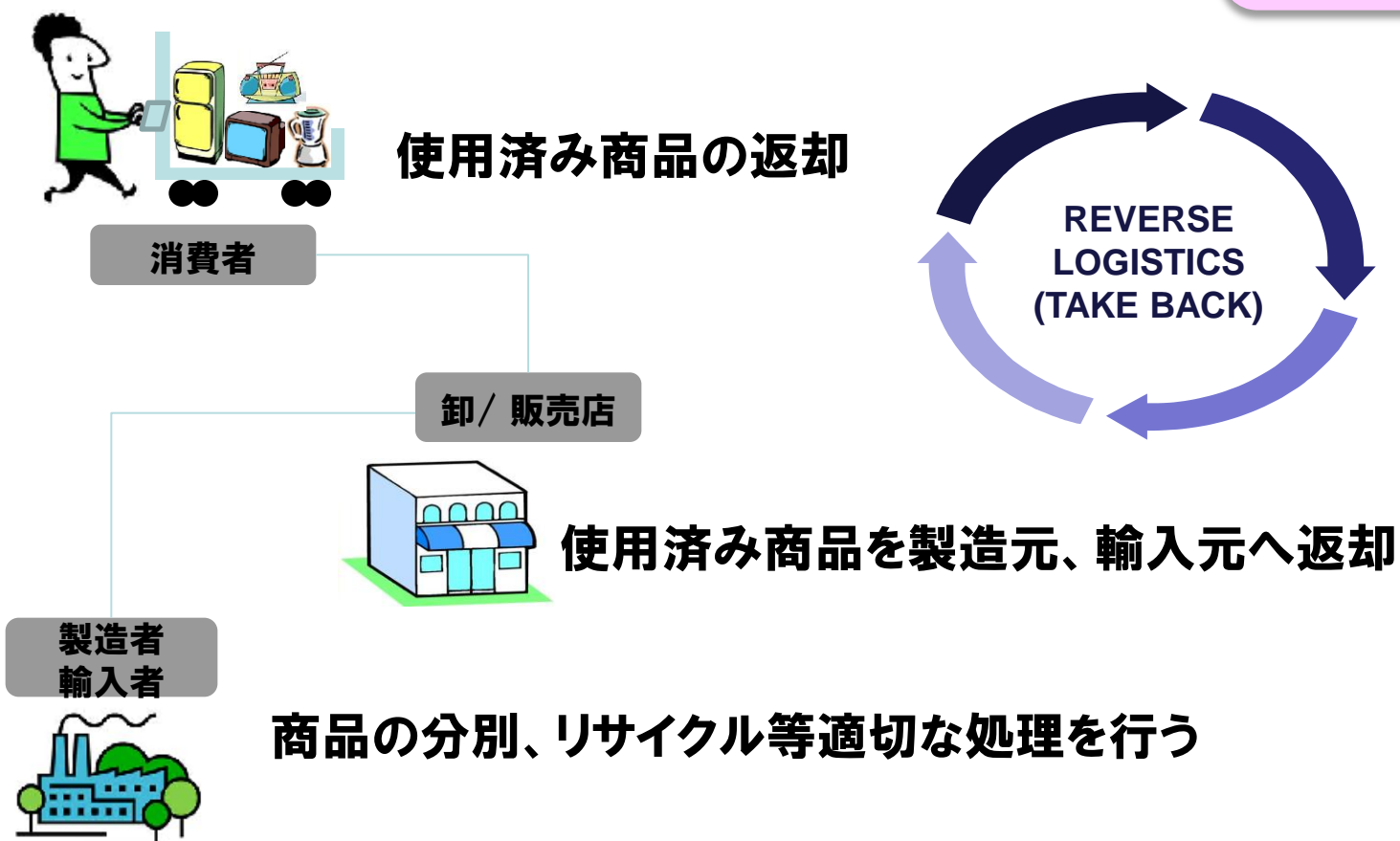
2010年発行

Lei nº 12.305/2010

Decreto nº 7.404/2010

**2011年
細則策定**

**2012年末
実施案**

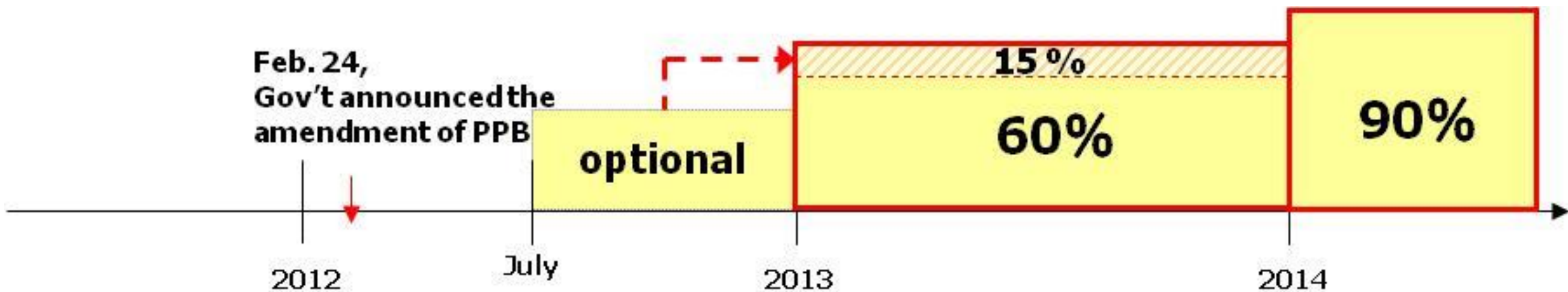


RESOLUÇÃO ESTADUAL DE SÃO PAULO SMA-38 /2011

Proposta apresentada pelo setor industrial ao governo, sugere iniciar a logística reversa com projeto piloto em 2 cidades do estado, São José dos Campos e Sorocaba. O setor esta no aguardo da aprovação da proposta pelo governo.

薄型テレビを対象にGINGA(双方向ミドルウェア)搭載を義務化

■ 導入スケジュール(最新状況)



- 1) 2012年6月まで搭載義務なし
- 2) 2012年7月～2012年12月まで = 搭載はオプション
- 3) 2013年1月～2013年12月まで = 75%に搭載義務化
- 4) 2014年1月以降 = 90%に搭載義務化

底堅い経済成長とインフラ投資(サッカーWカップ・オリンピック)に、各社は事業拡大を期待

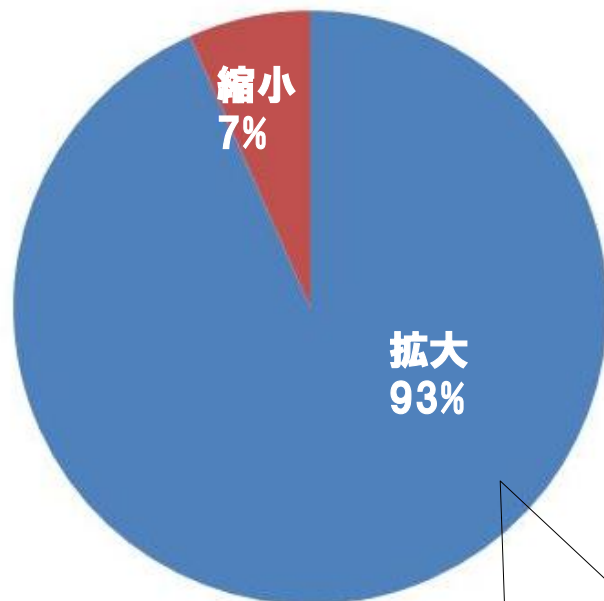
市況・外部の懸念材料

- 経済成長の速度は鈍るものの、政策金利の低減、年末需要がいまって景気浮場に期待。
- 為替変動と金利政策。
- ローカルコンテンツ規制等の国内保護政策。
- ブラジルコスト。

12年度下期の販売予測

- 2014年サッカーW杯、2016年オリンピック向けインフラ投資が本格化。スタジアムなど、大型案件の需要刈り取り。
- ブロードバンド推進計画など、通信インフラへの需要増に期待。4G周波数オークションも行われ、段階的に投資本格化。
- 略全社が下期の販売拡大を予測。

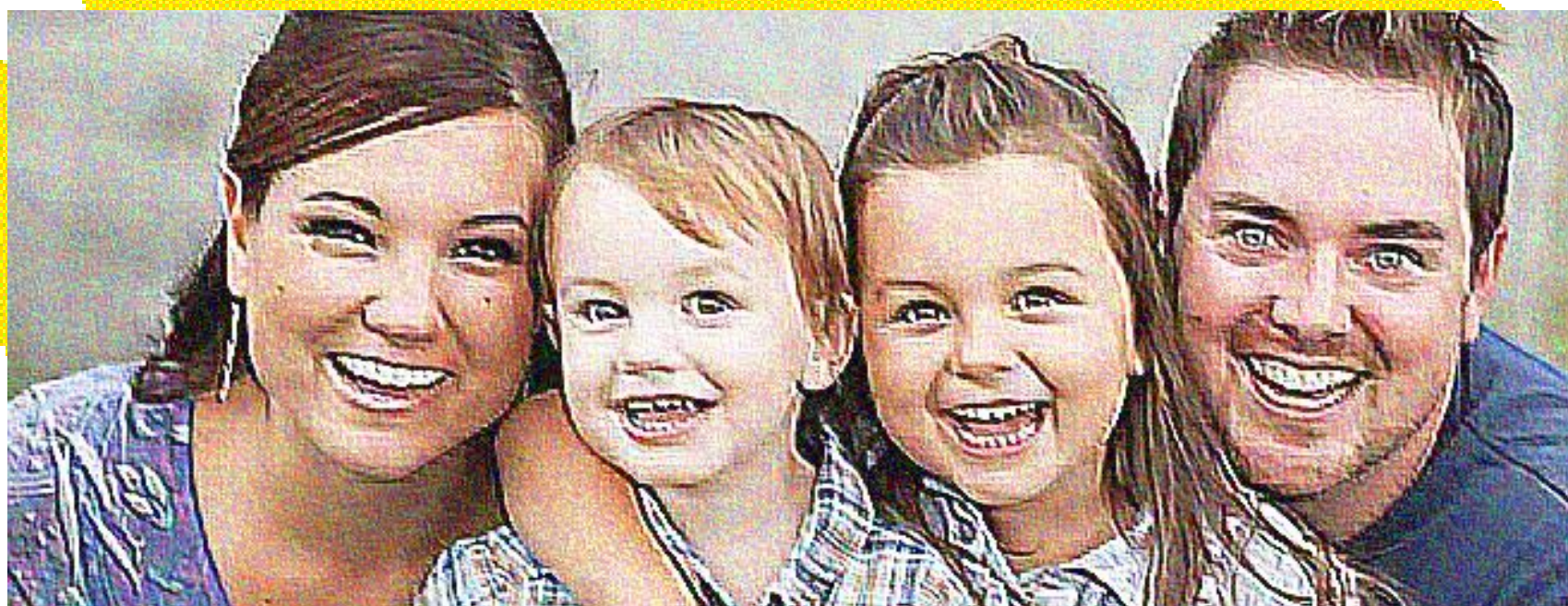
12年販売予測



アンケート回答社の93%が前年同期比で下期に販売が拡大すると予想。

12年下期の経営課題

- 上期に低調であった販売の拡大、在庫の最適化
- 販路の開拓、需要増の確実な取り込み(シェアアップ)
- 収益性の伴った事業の拡大
- 新規事業への投資、商品レンジの拡大
- 節税対策、管理コストの低減、経営安定化



Muito obrigado pela atenção!